

学道一如

発行 小樽双葉高校
生徒会通信
2023年11月17日
第46号

特集▼小樽再発見(8)リノベーション

薬局がおしゃれなカフェに

小樽市内には歴史的建造物をリノベーションして活かしている事例が数多くある。その中で学校から徒歩圏内にあるカフェと菓子屋さんを訪れた。N合同会社が経営する「(旧) 岡川薬局 Cafe White」と「山の上の坂 STAND & BAKE (旧) 小堀商店」だ。

(旧) 岡川薬局 Cafe White レトロだが基礎は堅牢

岡川薬局は小樽で有数の「薬種売薬」の老舗で、左の建物は昭和5年に建てられた。木造モルタル塗り2階建てにマンサード屋根(二重勾配の屋根)をかけ、ドーマ窓(屋根窓)を設け

ホテル&カフェに変身

2010年4月29日にリノベーションを終え、オープンした。薬局らしさを残しつつ、内部は

て、屋根裏も使用している。工期2年のうち、基礎工事に1年をかけた昭和初期の代表的な木造商店建築である。

地産地消を推進

カフェは1階が8席、2階が22席で、観光客や札幌からの客で賑わう。売れ筋はカレー、オムライス、パンケーキ。オートミールや米粉を使い、グルテンフリーのメニューもある。洋食を担当する飯沼政俊さんは「地元でとれた新鮮な食材を使ったメニューを楽しんで頂きます」と語っている。

コロナがあけてお客が増えることを願っているという。

山の上の坂 STAND & BAKE Cafe White のテイクアウト専門店 (旧) 小堀商店

重厚な(旧)小堀商店

昭和7年、建築。外壁は木造に鉄網を張り、モルタルを厚く塗った木骨鉄網コンクリート造りと呼ばれる堅牢な造りで、黒壁が一層重厚さを感じさせる。

Cafe Whiteの店内



お店の中央にガトーショコラ
あるリース
とミルクティー



防火シャッター、二重窓、全館にスチーム暖房を備え、当時の優れた設備を整えていた。母屋の背面には漆喰塗りの蔵が付属している。

山の上の坂 STAND & BAKE 健康志向の菓子とドリンク

今年5月から「体に美味しいドリンクと量り売り焼き菓子の店」としてオープンした。Cafe Whiteのテイクアウト専門店となっている。

管理栄養士の宮崎絵史さん(入社3年目)は、2つの店舗の菓子を作っている。こちらでは道産素材のマフィンや焼き菓子(上写真)を売っている。米粉やそば粉を使用するなどグルテンフリー、ダイエットにも効果がある商品だ。常に12種類の焼き菓子とクッキーを販売している。

建物为重厚で目を引くこと、雑誌などにも取り上げられているため、閉店時間の15時頃にはだいたい売り切れとなる。市民の常連客にも観光客にも気に入られ、また来たくなるようなスタンドを目指しているという。まだ建物の一部しか利用されていないが、残りのスペースをどのように活かすのか、今後も目が離せない。



小樽再発見(8)



(旧) 岡川薬局 Cafe White (若松1丁目7-7)



山の上の坂 STAND & BAKE (旧) 小堀商店 (住吉町14-4)



店舗内部、ショーケース